



2018年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年4月27日

上場会社名 株式会社 タムロン 上場取引所 東
 コード番号 7740 URL http://www.tamron.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鱒坂 司郎
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営企画室長 (氏名) 野中 秀行 TEL 048 (684) 9111
 四半期報告書提出予定日 2018年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第1四半期の連結業績（2018年1月1日～2018年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第1四半期	12,447	8.3	652	172.6	415	57.9	303	72.9
2017年12月期第1四半期	11,495	△16.7	239	273.7	263	456.0	175	—

(注) 包括利益 2018年12月期第1四半期 △519百万円 (-%) 2017年12月期第1四半期 △562百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第1四半期	11.69	—
2017年12月期第1四半期	6.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第1四半期	60,919	48,745	80.0
2017年12月期	63,868	49,940	78.2

(参考) 自己資本 2018年12月期第1四半期 48,745百万円 2017年12月期 49,940百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2018年12月期	—	—	—	—	—
2018年12月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2018年12月期の連結業績予想（2018年1月1日～2018年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,800	3.3	1,300	10.4	1,300	13.7	940	3.1	36.26
通期	63,000	4.1	4,800	13.0	4,800	17.1	3,360	18.4	129.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年12月期1Q	25,950,000株	2017年12月期	25,950,000株
② 期末自己株式数	2018年12月期1Q	29,334株	2017年12月期	29,288株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年12月期1Q	25,920,675株	2017年12月期1Q	25,920,756株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年1月1日~2018年3月31日)における世界経済を概観しますと、新興国経済の先行き不透明感や地政学的リスク等の懸念を抱えながらも、米国経済及び欧州経済は消費や投資の堅調な推移等により緩やかな成長基調が持続しました。中国経済は個人消費の拡大が景気を牽引し、高い成長率を維持しました。日本経済も、堅調な海外経済を背景に、緩やかな回復基調となりました。

当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場では、レンズ交換式カメラ、交換レンズともに前年同期比で出荷台数は減少となりましたが、金額ベースでは微増となりました。

また、コンパクトデジタルカメラは、前年同期比で出荷台数、金額ベースともに大幅な減少となりました。

平均為替レートにつきましては、前年同期比で米ドルは約5円の円高、ユーロは約12円の円安となりました。

このような状況の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、主力事業の写真関連事業が好調に推移したことにより、売上高は124億47百万円(前年同期比8.3%増)となりました。

利益面につきましては、増収ながらも販売費及び一般管理費を削減したことに加え、円安ユーロ高による為替のプラス影響もあり、営業利益は6億52百万円(前年同期比172.6%増)、経常利益は4億15百万円(前年同期比57.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億3百万円(前年同期比72.9%増)と、大幅な増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(写真関連事業)

自社ブランドは北米と日本を中心に好調に推移し、OEM関連も受注増となったことにより、ともに2ケタの増収となりました。

自社ブランドにつきましては、前年下期に発売した超望遠高倍率ズームレンズ 18-400mm VC HLD (B028)、大口径標準ズームレンズ SP 24-70mm F/2.8 VC USD G2 (A032)、超望遠ズームレンズ 100-400mm VC HLD (A035) や、今年3月に発売した超望遠ズームレンズ 70-210mm F/4 VC USD (A034) 等の新製品が、売上増とともに利益率の改善に寄与し業績を牽引いたしました。

なお、当社初となる35mmフルサイズミラーレス一眼カメラ対応大口径標準ズームレンズ 28-75mm F/2.8 R XD (A036)を開発する等、従来の一画レフカメラ及びAPS-Cミラーレスカメラ用レンズに加え、フルサイズミラーレスカメラ用レンズのラインナップ拡充も図りました。

このような結果、写真関連事業の売上高は91億34百万円(前年同期比16.0%増)、営業利益は11億68百万円(前年同期比239.1%増)と、大幅な増収増益となりました。

(レンズ関連事業)

コンパクトデジタルカメラ用レンズやビデオカメラ用レンズが市場の大幅縮小に伴い減収となりました。

このような結果、レンズ関連事業の売上高は4億61百万円(前年同期比43.3%減)、営業損失44百万円(前年同期は営業利益1億79百万円)となりました。

(特機関連事業)

監視カメラ用レンズは円高ドル安による為替のマイナス影響や顧客の在庫調整等の影響もあり減収となりましたが、車載カメラ用レンズは前年同様に高い成長率を維持し大幅増収となりました。

なお、動く被写体でも歪みの少ない画像が得られるグローバルシャッターCMOSセンサーを搭載した30倍ズームのカメラモジュールを開発する等、今後の事業規模拡大を見据えた開発も推進いたしました。

このような結果、特機関連事業の売上高は28億51百万円(前年同期比1.6%増)、営業利益は1億4百万円(前年同期比58.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は609億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億49百万円減少いたしました。うち、流動資産は21億91百万円減少し、432億円となりました。これは主に、現金及び預金が8億36百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が38億93百万円減少したことによるものであります。固定資産は7億57百万円減少し177億18百万円となりました。これは主に有形固定資産が6億70百万円減少したことによるものであります。また負債は121億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億54百万円減少いたしました。うち、流動負債が20億48百万円減少し、98億83百万円となりました。これは主に、買掛金が9億71百万円減少したことによるものであります。固定負債は、2億93百万円増加し、22億90百万円となりました。これは主に、長期借入金が1億51百万円増加したことによるものであります。純資産は、利益剰余金が3億44百万円、為替換算調整勘定が6億23百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ11億95百万円減少し、487億45百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年2月13日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想から変更ありません。

第2四半期以降につきましては、為替相場の変動リスクや地政学的リスク等、様々な外部リスク要因の懸念はありますが、当社といたしましては、計画通りに今後も自社ブランド交換レンズの新製品を積極的に投入すると共に、車載カメラ市場やドローン市場等の成長分野での売上拡大を図ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,431	20,267
受取手形及び売掛金	14,061	10,167
製品	6,392	6,857
仕掛品	3,098	3,362
原材料及び貯蔵品	982	1,063
繰延税金資産	360	335
その他	1,093	1,180
貸倒引当金	△28	△33
流動資産合計	45,392	43,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,295	13,101
減価償却累計額	△7,513	△7,547
建物及び構築物(純額)	5,781	5,553
機械装置及び運搬具	19,385	19,063
減価償却累計額	△14,403	△14,343
機械装置及び運搬具(純額)	4,982	4,719
工具、器具及び備品	20,186	20,651
減価償却累計額	△18,188	△18,384
工具、器具及び備品(純額)	1,998	2,267
土地	961	950
その他	894	456
有形固定資産合計	14,618	13,947
無形固定資産	704	662
投資その他の資産		
投資有価証券	2,811	2,662
繰延税金資産	115	221
その他	267	263
貸倒引当金	△40	△38
投資その他の資産合計	3,153	3,109
固定資産合計	18,476	17,718
資産合計	63,868	60,919

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,675	2,703
短期借入金	2,676	2,553
未払費用	3,109	2,582
未払法人税等	629	69
その他	1,839	1,975
流動負債合計	11,931	9,883
固定負債		
長期借入金	468	620
退職給付に係る負債	1,298	1,450
その他	230	220
固定負債合計	1,996	2,290
負債合計	13,928	12,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,923	6,923
資本剰余金	7,432	7,404
利益剰余金	31,527	31,182
自己株式	△53	△53
株主資本合計	45,829	45,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	846	748
為替換算調整勘定	3,214	2,590
退職給付に係る調整累計額	49	△49
その他の包括利益累計額合計	4,110	3,288
純資産合計	49,940	48,745
負債純資産合計	63,868	60,919

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
売上高	11,495	12,447
売上原価	7,448	8,150
売上総利益	4,047	4,296
販売費及び一般管理費	3,808	3,644
営業利益	239	652
営業外収益		
受取利息	10	15
受取賃貸料	4	2
補助金収入	34	36
その他	23	26
営業外収益合計	72	81
営業外費用		
支払利息	11	10
為替差損	33	301
その他	3	6
営業外費用合計	48	318
経常利益	263	415
税金等調整前四半期純利益	263	415
法人税等	88	112
四半期純利益	175	303
親会社株主に帰属する四半期純利益	175	303

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
四半期純利益	175	303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	△98
為替換算調整勘定	△763	△623
退職給付に係る調整額	7	△99
その他の包括利益合計	△737	△822
四半期包括利益	△562	△519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△562	△519

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の海外連結子会社において、税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年1月1日至2017年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	合計
	写真関連事業	レンズ関連 事業	特機関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,875	814	2,805	11,495	-	11,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	7,875	814	2,805	11,495	-	11,495
セグメント利益	344	179	248	772	△533	239

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額△533百万円は、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	合計
	写真関連事業	レンズ関連 事業	特機関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,134	461	2,851	12,447	-	12,447
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	9,134	461	2,851	12,447	-	12,447
セグメント利益又は損失(△)	1,168	△44	104	1,228	△575	652

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△575百万円は、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等であります。